

殺虫剤

第16758号

トレボン® 乳剤

種類名：エトフェンプロックス乳剤

特長
●速効的で長い残効性を持っています。
●野菜・果樹・花の多くの作物と害虫に使用できます。

【有効成分】 エトフェンプロックス(PRTR法第1種-64号) 20.0%
【その他成分】 エチルベンゼン(PRTR法第1種-53号)
キシレン(PRTR法第1種-80号)

【性状】 淡黄色澄明可乳化油状液体 **【毒性】** 普通物* **【危険物】** 2石-III

【有効年限・包装】 5年・30mL×10×4

*普通物：「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

トレボンは三井化学アグロ(株)の登録商標です。



30ml

適用病害虫・使用方法

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックス
稲	-	コブノメイガ	1000倍	60~150 L/10a	収穫21日前まで	3回以内		3回以内
		ツマグロヨコバイ ウンカ類 イネドロオウムシ イナゴ類	1000~2000倍					
		カメムシ類 イネミスズムシ	2000倍					
		アオムシ、コナガ ヨトウムシ アブラムシ類	1000~2000倍					
キャベツ	-	アブラムシ類	1000~2000倍		2回以内		2回以内	
はくさい		シロイチモジヨトウ						
だいごん		アブラムシ類						
ねぎ		アブラムシ類						
レタス	-	アブラムシ類	1000~2000倍	100~300 L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	
すいか		アブラムシ類 コナジラミ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ						
		メロン						アブラムシ類 コナジラミ類
なす		アブラムシ類						1000~2000倍
ピーマン	-	アブラムシ類 カメムシ類	1000~2000倍	100~300 L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	
オクラ		アブラムシ類 カメムシ類						
きゅうり		コナジラミ類 アブラムシ類						
にがうり		アブラムシ類 ウリノメイガ カメムシ類 コナジラミ類 ヨトウムシ類						
トマト	-	コナジラミ類	1000倍	100~300 L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	
さやえんどう えんどう		シロイチモジヨトウ ヨトウムシ ウラナミシジミ						
さやいんげん		ワタアブラムシ ウラナミシジミ マメノメイガ						
えだまめ		マメシクイガ シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ウコンノメイガ						
かんきつ	-	アブラムシ類	1000~2000倍	200~700 L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	
		ハスモンヨトウ						
		コオハナムグリ ケシキスイ類						
小麦	-	ヒメトビウンカ アブラムシ類	2000倍	60~150 L/10a	2回以内	2回以内	2回以内	
とうもろこし		アワノメイガ アワトウ						
ばれいしょ		アブラムシ類						
かんしょ		ナカジロシタバ アブラムシ類 ハスモンヨトウ						
さといも	-	ハスモンヨトウ	1000~2000倍	60~150 L/10a	4回以内	4回以内	4回以内	
さといも(葉柄)		アブラムシ類						
やまのいも		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ						
やまのいも(むかご)		アブラムシ類 ヤマノイモコガ ハスモンヨトウ						
豆類 (種実、ただし、 だいず、あずきを 除く)	-	マメシクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ウラナミシジミ フキノメイガ	1000倍	100~300 L/10a	2回以内	2回以内	2回以内	
だいず		マメシクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ウラナミシジミ フキノメイガ ウコンノメイガ						
あずき		マメシクイガ アブラムシ類 シロイチモジマダラメイガ ダイズサヤタマバエ カメムシ類 フタスジヒメハムシ ハスモンヨトウ ノメイガ類 ウラナミシジミ						
しょうが		ハスモンヨトウ						
ふき	-	コナジラミ類 フキノメイガ ヨトウムシ	1000~2000倍	100~300 L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	
てんさい		ヨトウムシ						
茶	-	チャノホソガ チャノミドリヒメコバエ チャノキアザミウマ	2000倍	200~400 L/10a	2回以内	2回以内	2回以内	
未成熟さざげ モロヘイヤ		アブラムシ類 アザミウマ類						

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	エトフェンプロックス			
葉しょうが	-	ハスモンヨトウ	1000倍	100~300 L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内			
うど		アブラムシ類			根株養成期 但し、 収穫45日前まで						
あしたば		アブラムシ類			収穫14日前まで						
たばこ		タバコガ ヨトウムシ			25~180 L/10a				2回以内	2回以内	
つつじ類	-	ツツジグンバイ	2000倍	100~700 L/10a	幼虫発生期	6回以内	散布	6回以内			
		ケムシ類 シャクトリムシ類									
		オビカレハ									
樹木類 (つつじ類、 ポインセチア ソテツを除く)	-	ケムシ類 シャクトリムシ類	2000倍	100~700 L/10a	幼虫発生期	6回以内	散布	6回以内			
ポインセチア		オビカレハ									
ソテツ		クromaダラソテツジミ									
宿根かすみそう		ケムシ類 シャクトリムシ類									
りんどう	-	オビカレハ	2000倍	100~300 L/10a	発生初期	3回以内	3回以内				
きく		シロイチモジヨトウ									
カーネーション		ヨトウムシ									
ゆり		ヒラズハナアザミウマ									
トルコギキョウ	アブラムシ類	2000倍	100~300 L/10a	3回以内	3回以内	3回以内	3回以内				
水田作物、 畑作物(休耕田)	-	ヨシ、オギ、 ススキ、セイタ カアワダチソウ 等の多年生雑草 が優占している 休耕田	2000倍	60~150 L/10a	-	3回以内		3回以内			
稲		ウンカ類							300~600倍	25L/10a	収穫21日前まで
せり		ツマグロヨコバイ イネミスズムシ イネドロオウムシ カメムシ類							300倍		
せり(水耕栽培)		アブラムシ類							600倍		
みずいも	水田	オキナワイナゴモドキ	1000倍	100~150 L/10a	収穫30日前まで	2回以内	2回以内				
	水田	アブラムシ類	1000倍	100~150 L/10a	収穫14日前まで	3回以内	3回以内	3回以内			

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきる。
- 畜に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場合には絶対に桑葉にかからないようにすること。
- 散布器具、作業衣等は桑用と必ず区別すること。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意すること。
 - ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散する恐れがある場合には使用しないこと。
 - 養蜂が行われている地区や受粉等を目的としてミツバチ等を放飼している地区で使用する場合は、関係機関(都道府県の畜産部局や病害虫防除所等)への連絡を徹底し、ミツバチ等の危害防止に努めること。
- 本剤のかんきつ、茶での散布は、場合によりハダニ類がふえることがあるので注意すること。
- ねぎのシロイチモジヨトウの防除に使用する場合は、食入前の若令幼虫期に散布すること。
- きくのアブラムシ類への使用にあたっては、一部地域のワタアブラムシでは効果が劣ることがあるので使用をさけること。
- せり(水耕栽培)に使用する場合は、本剤を使用した施設からの廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理すること。
- 本剤を本田の水稲に対して希釈倍数300~600倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度運動式地上液剤少量散布装置を使用すること。
- 本剤は自動車等の塗面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意すること。
- 本剤の使用は当品種に使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意すること。とくに適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- 誤飲などのないよう注意すること。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の処置を受けること。
- 原液は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- 散布の際は手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをすること。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

- 水産動植物(甲殻類、冷水魚)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。養殖池等周辺での使用は避けること。なお、比較的低濃度でも魚が平衡失調を起こす恐れがあるので、十分注意すること。
- 散布後は水管理に注意すること。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

危険物第四類第二石油類に属するので、火気には十分注意すること。

貯蔵上の注意事項

火気を避け、直射日光が当たらない低温な場所に密栓して保管すること。